

**AMP ECONOSEAL-J MARK II<sup>+</sup>  
SENSOR CONNECTOR****INSTRUCTION SHEET****エコノ・シール-J マークII<sup>+</sup>センサーコネクタ****取扱説明書**

注： この取扱説明書は、予告なく変更する場合があります。

## EJ-II<sup>+</sup>センサーコネクタ

### 取扱説明書

#### 1. 製品の概要

EJ-II<sup>+</sup>センサーコネクタは従来のEJ-IIセンサー・コネクタをダブルロック（二重係止）化したもので次のような特徴があります。

- (1) 端子の半装着を検知できる。
- (2) 従来のリセプタクル端子を使用する。
- (3) 従来品コネクタとの互換性がある。  
(従来品のコネクタとも嵌合できる)
- (4) 外形寸法は従来品と同一である。

#### 対象製品名（従来品との型番照合）

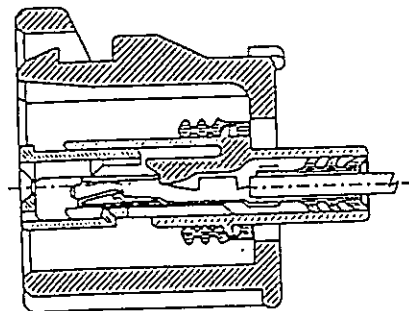
品名	従来品 AMP型番	ダブルロックコネクタ AMP型番	備考
2極プラグ(A)TZS17°用	174371	—	
2極プラグ(B)TZS22°用	174372	178390	
2極プラグ(B)TZS22°用	176321	178448	si製シールドプラグ
2極プラグ(C)TZS35°用	174373	—	
2極プラグ(D)水温センサ用	174374	178392	
2極プラグ(D)水温センサ用	176322	178449	si製シールドプラグ
4極プラグ(A)スロットルセンサ用	174382	178399	
4極プラグ(B)スロットルセンサ用	175723	178398	

2. ハーネス製造作業

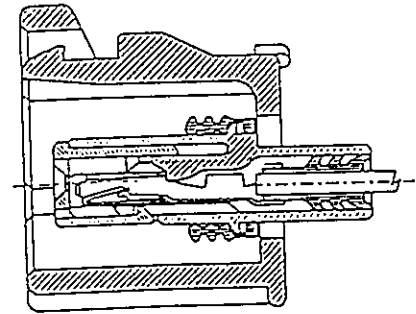
2-1 圧着済コンタクトのハウジング挿入作業

本製品にはダブルロックプレートが、あらかじめ仮係止されていますので、以下の様にしてコンタクトをハウジングに挿入して下さい。

- (a) ダブルロックプレートが図の様に仮係止状態にあることを確認した後、コンタクトの方向性を確認したうえでハウジングに挿入して下さい。



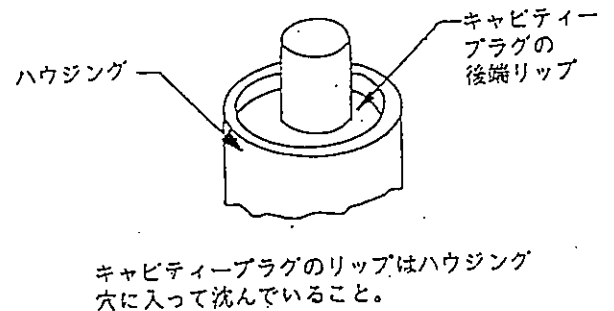
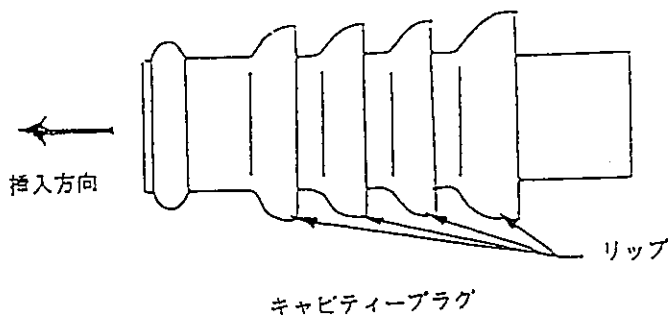
仮係止



本係止

- (b) ダブルロックプレートが本係止状態になっているとコンタクトの挿入が出来ません。無理に挿入しようとするとコンタクトを变形させたりハウジングを破損することがありますので注意して下さい。
- (c) もし本係止状態になっている時は「本係止の外し方」に従い仮係止状態にしてから端子を挿入して下さい。

2-2 キャビティープラグのハウジングへの挿入作業

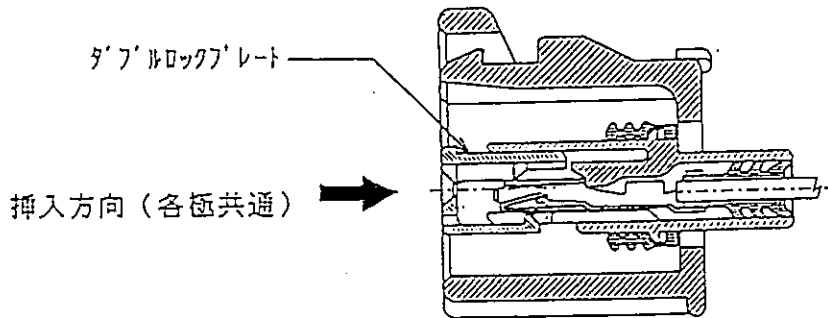


キャビティープラグは、コンタクトを使用しない空の極にうめ込んで使用するものです。挿入時には、前後の方向性を確認したうえで作業をして下さい。挿入後は、キャビティープラグの后端リップがハウジングの穴に完全に入っていることを確認して下さい。

### 2-3 ダブルロックプレートの本係止方法

必要な全ての回路にコンタクトを挿入し終わったら、ダブルロックプレートの本係止状態にします。

(a) 図の様にプレート全面を指等で、できるだけ均等に押して下さい。



(b) 本係止状態になる時には”バチン”とロックのかかる音がします。

(c) 押しても(3~4kg程度)本係止にならない場合は、無理に押さずコンタクトが完全に挿入されているかどうか確認して下さい。

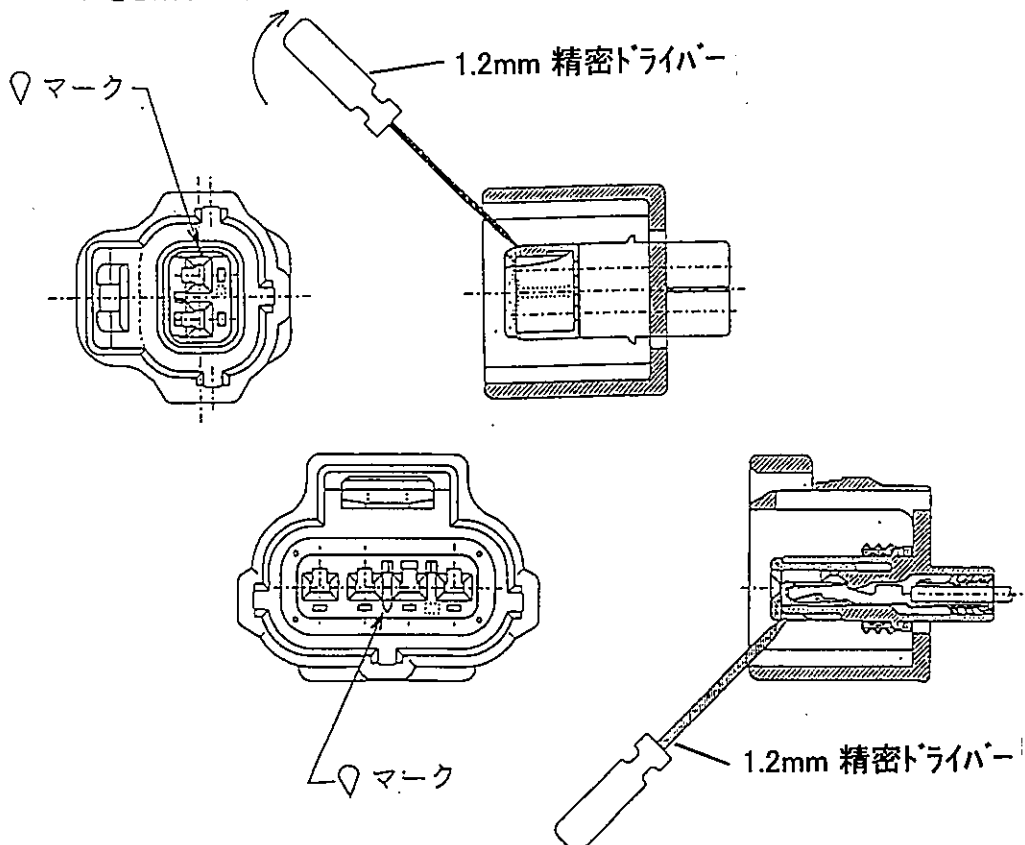
### 2-4 ダブルロックプレートの外し方 (本係止を仮係止状態に戻す方法)

ハウジングへコンタクトを誤挿入して、ダブルロックプレートの本係止してしまってからコンタクトを引抜きたい時やコンタクトを挿入前に既にダブルロックプレートが本係止になっている時には、先ずダブルロックプレートを仮係止状態に戻す必要が有ります。

(本係止状態ではコンタクトの挿入、引抜きはできません)

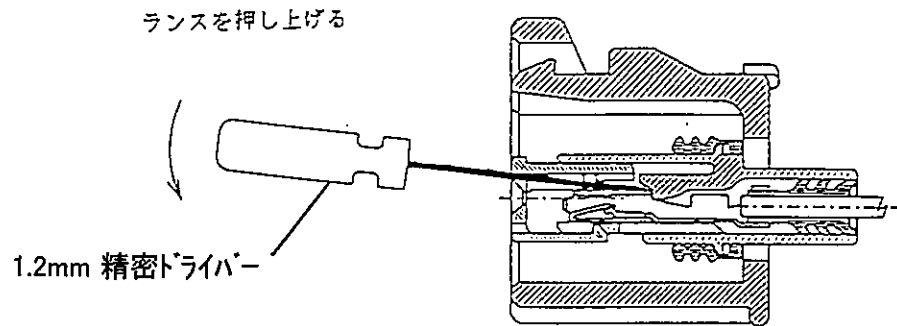
仮係止状態に戻すには、1.0mm幅程度の精密ドライバをします。

ダブルロックプレートの▽マーク部とハウジング本体との間にドライバ等を差し込みプレートを仮係止状態になるまでこじり上げて下さい。



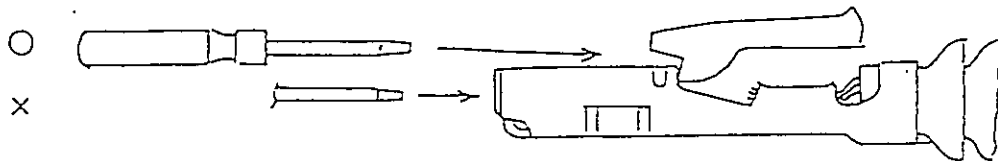
2-5 コントクトの引抜き方法

- (a) 前項に従ってダブルロックプレートを仮係止状態にします。
- (b) 引抜こうとする端子の電線を持ってコントクトを奥に押し込みそのままおさえます。
- (c) 次にドライバ等を図の様にハウジングランス先端部とコントクトの間に差し込みランスを押し上げます。
- (d) そのままの状態電線を反対側へ引張りコントクトを引抜いて下さい。



※ 注意事項

- ※ リセプタクルの接触部に治具を入れないこと。

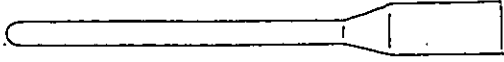
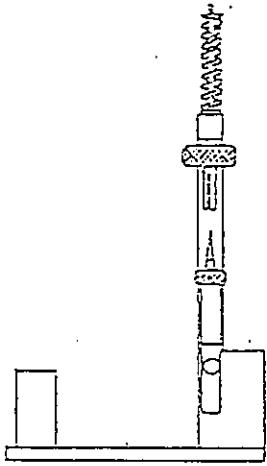


3. 保守作業について

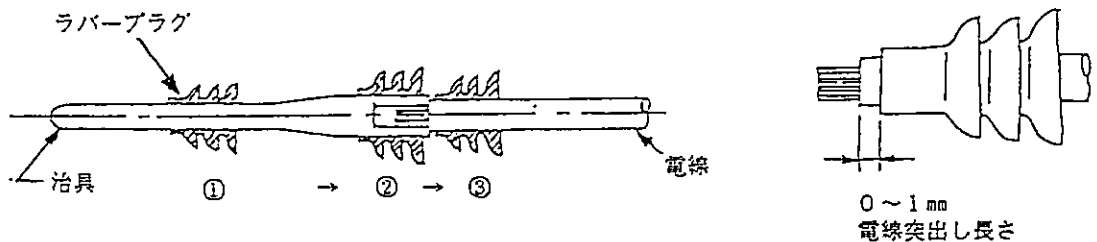
ハーネスに組付けられた端子を交換する場合は下記に従うこと。

- (1) 不良端子を電線から切り離す。
- (2) 電線の被覆をむく。被覆むき長さ; 4~4.5mm
- (3) 電線にラバープラグを装置する。

ラバープラグ装着治具には、下図の種類があります。

	簡易装着治具		装着治具
	.070シリーズ用 (0.2~0.5mm <sup>2</sup> 適用)	.070シリーズ用 (0.5~1.25mm <sup>2</sup> 適用)	.070シリーズ用
治具番号	753838-1	753838-3	753812-2
略図			

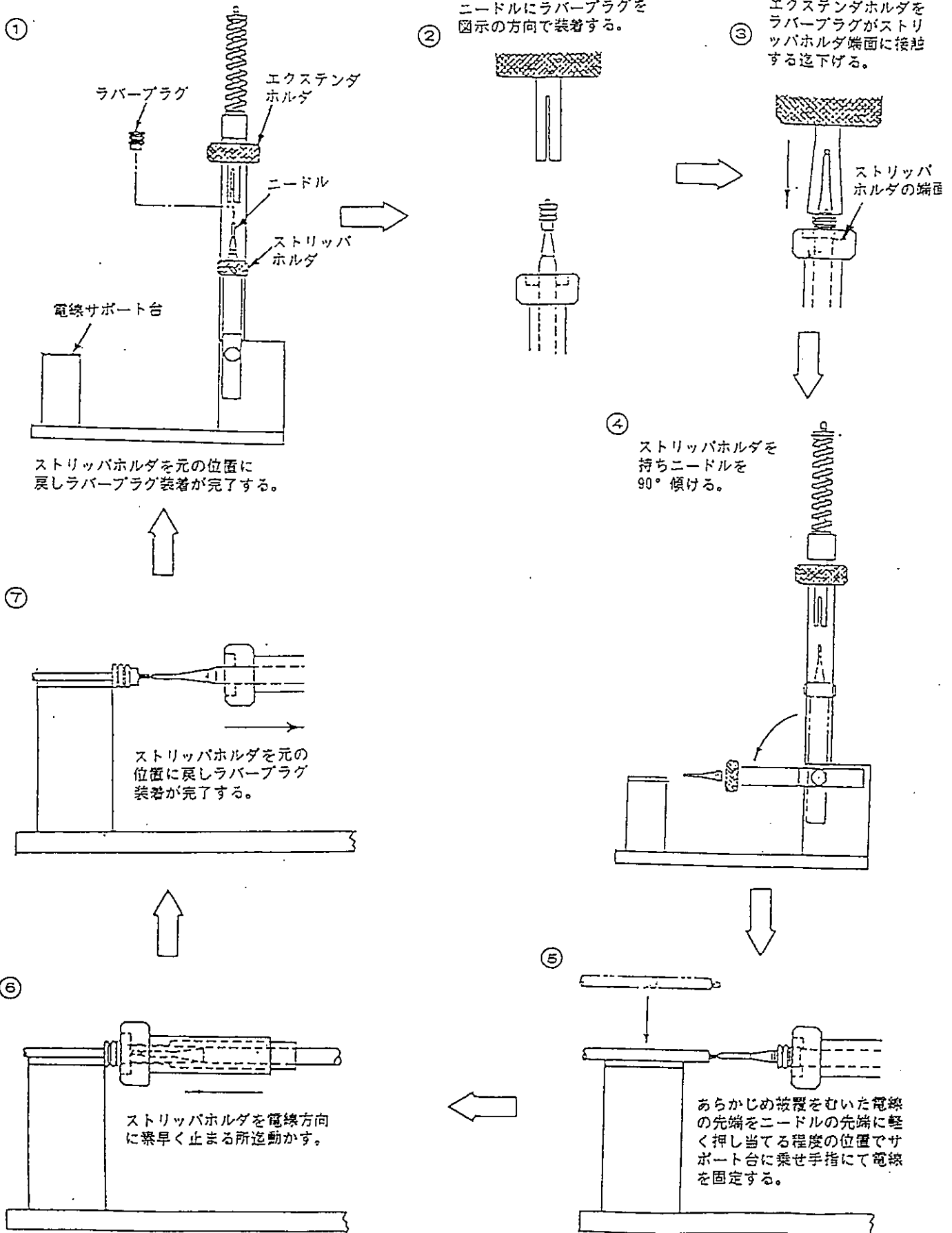
(3) - 1 簡易装着治具の使用法



①から③へ手指にて装着する。

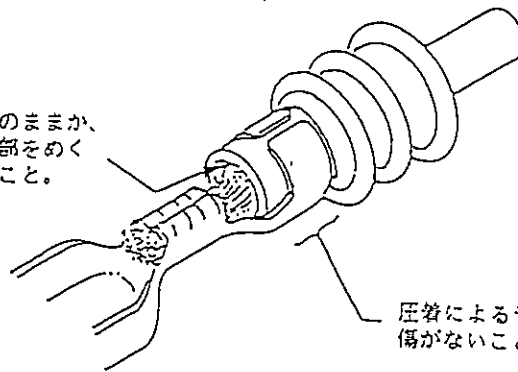
ラバープラグが傾かないこと。

(3) - 2 装着治具の使用法



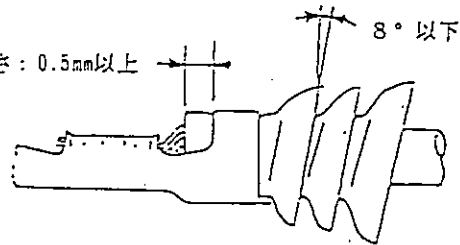
(4) 圧着

電線被覆は圧着後の状態のままか、あるいはラバープラグ端部をめくって目視にて確認できること。



圧着によるラバープラグの切れ、傷がないこと。

ラバープラグ突出し長さ：0.5mm以上



ラバープラグが傾いていないこと。

圧着により端子が変形した場合は、矯正して使用すること。  
変形量の規制値の詳細については、取付適用規格No.114-5082を参照のこと。

(5) 自動機械

.070コンタクト用に電線被覆むき、ラバープラグ装着、端子圧着を全自動で行える自動機械SCAT (SEALED CONTACT AUTOMATIC TERMINATER) があります。SCATについては、取扱説明書番号CM-234Jを参照願います。